



## 一関東中学校バドミントン部

私たち一関東中学校バドミントン部は、2年生8人1年生3人という少ない人数ですが、明るく元気に楽しく活動しています。新人戦では団体戦で優勝し、個人戦でダブルスが二つ、シングルが一つ県大会の出場権を獲得することができました。現在は県大会に向けて声を出して練習に取り組んでいます。私たちは技術面、精神面ともに未熟ですが、県大会までに技術を磨き、精神面を強くしていきたいと思います。各大会で、どこの学校よりも声を出し、いいプレーができるように心掛けています。

これからも応援してくださる地域の皆様や保護者の方々に感謝の気持ちを忘れず、各大会で上位入賞を目指して練習に取り組んでいきたいです。

部長 能谷彩也佳さん(2年)



ここにしかない  
物を作りたい！

調理師専門学校を卒業後、東京のケーキ店勤務などを経て今年の4月から実家の製菓店で菓子職人として働く政隆さん。「朝早くから夜遅くまで仕事が尽きず、体力的につらい時もあるけど、自分の作った物が形になつていくのが楽しいし、やりがいのある仕事」ときつぱり。今はクリスマスに向けた商品開発に力を入れているそうです。

学生時代はサッカー部に所属していた政隆さん。「サッカーやりたいんですけど時間がなくて」と笑顔を見せます。



春、代かきした転作田にマコモの苗を定植

前向きな意見が出され、集落一丸となつた共同作業で栽培したこと、喜びと意欲につながりました。

「今後は栽培面積を増やし、販売ルートを確立させるための調査研究をしていきたい。そして収穫する喜びや親睦を深めることで、この上油田を楽しい集落として若い世代へ引き継げるよう努力する」と猪股代表。薄れてきた共同作業を通じて、地域活性化へつなげようとする思いを語ってくれました。

10月には、油島地区の食生活改善推進員を中心に、地元の女性たちの協力により試食会を実施。試食した40人からは「立派に栽培できだし、料理も大変おいしい」と大好評。「今後は地域の特産物として、このモコマタケをどうやって宣伝し、普及や販売につなげていくかが課題」と

イネ科マコモ属・多年草の水生植物で中国東南アジアが原産地の『マコモ』。肥大した茎『マコモタケ』は低カロリーで食材としてどんな料理にも相性が良く、粉末にした葉をお茶として飲めば、血液の汚れに関わる体質改善をはじめ、体の解毒作用と免疫力の強化に、優れた効能が期待できると最近注目を集めています。

花泉町油島の上油田第三集落（かみゆだ）  
（猪股勇一代表）は、そのマコモタケの生産に取り組んでいます。「集落で会合のたびに、最近は地域の人たちが集まつて共同作業をする機会がなくなっている」と昔は共同作業後にみんなで旅行したものだと、楽しかった思い出

出が話題に上がる」と猪股代表。2年前の新年会で「先祖から受け継いだ立派な水田がある。転作田を利用して生産性の高い、地域の特産物を共同作業で作つてみよう」と話がまとまり、共同作業を復活させようと参加者全員が確認し合いました。

話だけで終わらせず実践に向けて勉強しようと、弥栄地区の生産者の協力を得て21年4月、栽培研修会を実施。この席上で「酒のつまみに最高の一品」と聞いたことが、マコモタケを生産する決め手となりました。

集落全22世帯が連携し、各種制度をフルに活用。水田農業や生産調整の推進を図るため、集落ビジョン策定集落が行う活動

域など農業生産条件が不利な地域で、一定の条件を満たせば交付される「中山間地域等直接支払制度」を利用し、同年4月から本格的に栽培に取り組みました。今年度は、市の「いちのせき元気な地域づくり事業」で、農産物の振興のため「マコモタケの栽培に関する調査研究事業」を行うことになり、上油田第三集落を中心に、マコモを活用した健康新食品会社への視察やマコモの需要と効能についての研修会を実施しました。



①写真(デジカメ画像可)②名前③種類とメスオス④応募者の住所・氏名・電話番号⑤40字程度のコメント一を明記して市役所秘書広報課(メール可)まで。

上油田第三集落



地域で頑張って活動している  
グループなどを紹介していきます。



## 小学校入学前の子供たちを募集！

①写真（2カ月以内に撮影したもの・デジカメ画像も可）②氏名（ふりがな）  
③生年月日④住所⑤電話番号⑥父母氏名⑦30字程度でお子さんへのメッセージを明記して市役所秘書広報課 〒021-8501（住所不要）またはhishokoho@icity.ichinoseki.iwate.jpまで。（毎月先着3人）